

Hydrophobic

K
iWaMi
3C/B

L·G·M

[髪質改善 トリートメント剤]

化学的結合水®

ハイドロフォビック クリアメイクピース5

Kiwami-3 C/BL 結合水系 (水素結合)

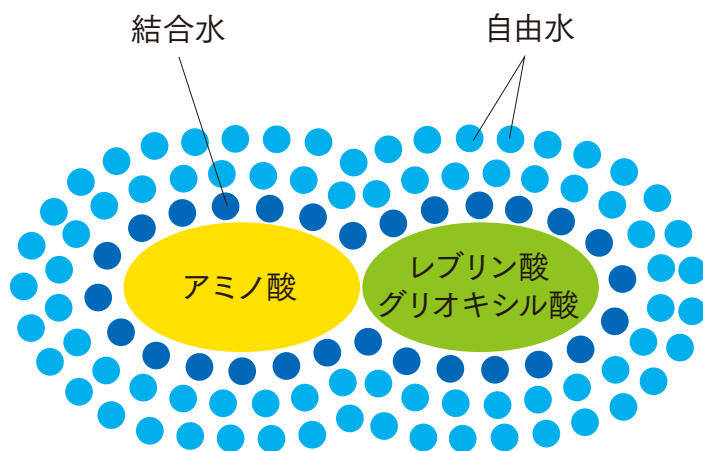
Kiwami-3 C/BG 結合水系 (水素結合)

Kiwami-3 C/BM プレックス系 (S-S結合)

結合水再生のしくみ

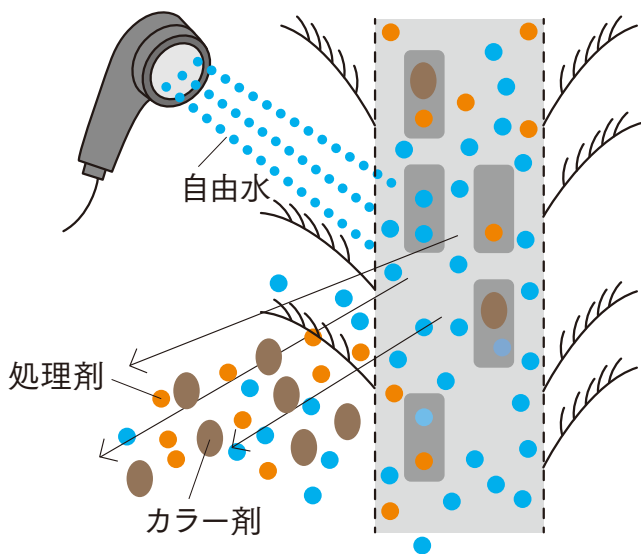
結合水と自由水

もともと、人の髪や身体の中にある水分はすべて「結合水」。その特長はマイナスの温度でも凍らず、100℃でも蒸発しない特別な水です。だからマイナスの温度でも髪は凍らないのです。一方、自由水はミネラルウォーターや水道水などの、いわゆる一般的な水のこと。0℃で凍り、100℃で沸騰します。※髪の中の結合水の周りには、元々ある自由水（吸着水を含む）があります。



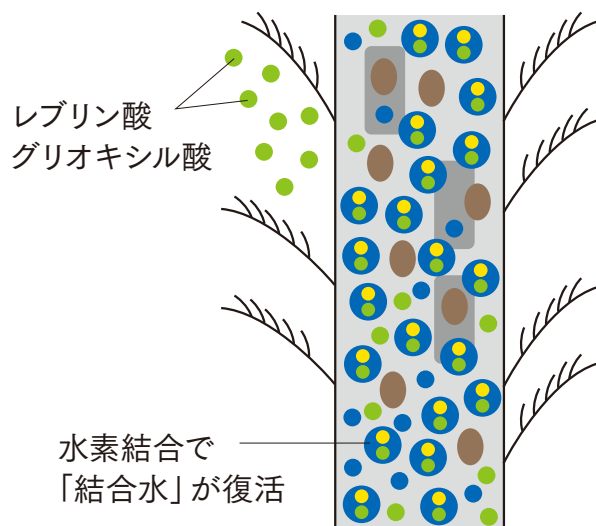
結合水の特長

- ① タンパクと結合している
- ② 水素結合を持っている
- ③ コロイド状態の水で少しロミがあるため、自由水と交わらない



[ダメージ毛イメージ]

ダメージ毛は、自由水が髪の中にどんどん入り込み、施術したカラー剤や処理剤などが髪の外に流出してしまう。



[結合水再生イメージ]

レブリン酸／グリオキシル酸の機能により水が再度タンパクと結合（水素結合）。髪の中に結合水が復活する。

レブリン酸とグリオキシル酸の性質比較

	L (レブリン酸)	G (グリオキシル酸)
ツヤ感	◎ みずみずしい、とてもきれいな艶	◎ みずみずしい、とてもきれいな艶
手触り感	◎ しっとりした手触り感、とても軽い	◎ しっとりした手触り感、決して重くない
お客様の取り扱い感	◎ セットが楽になり、乾くのが早い	◎ セットが楽になり、乾くのが早い
持続性	◎ 1~3か月	◎ 1~3か月
臭い	◎ ドライ状態も、水分を含んでも臭いはない	△ ドライ状態は問題ないが、水分を含むと1週間程度、少し残臭が残る
ヘアカラーとの相性	◎ ほとんど影響はない	△ 高強度ヘアカラーは変色するが、他メーカーほど変色しない
パーマとの相性	◎ ウェーブダウンしない	△ 少しウェーブダウンする

(S-S結合)

(水素結合)

マレイン酸とレブリン酸のしくみ

還元成分
—SH

1 還元

SH HS
SH HS
SH HS

ミックスジスルフィド

[マレイン酸の働き]

- 水道水のカルシウムやマグネシウムを髪に吸着する前にキレートする
- 還元剤やブリーチ剤、ヘアカラー等の過酸化水素水によりシステイン酸になる事を防ぐ
- 髪のすき間をうめる

マレイン酸

2 酸化

[レブリン酸で酸化サポート]

- バッファー効果
- 水素結合形成
→ドライ状態をつくり、ドライで酸化
- ヘアカラーの流出を抑える
- 毛髪成分流出を抑える

使用例	レブリン酸 or グリオキシル酸	マレイン酸
ミディアム	50~70g	・パウダーブリーチの総量の10% ・ヘアカラー剤の総量の3% (キャップ1杯) ・縮毛矯正の場合は、3~5倍の水で希釈して1液放置後に1剤の上からもみ込み2~3分で流す ・パーマ、カールの場合は、3~5倍の水で希釈し、1液放置後ロッドの上から塗布して2分置く
ロング	70~100g	

Kiwami-3シリーズ

①Kiwami-3 C/BL レブリン酸 (しっとりサラサラ質感) 500g/¥4,500

②Kiwami-3 C/BG グリオキシル酸 (しっとり質感) 500g/¥5,000

③Kiwami-3 C/BM マレイン酸 500mL/¥5,000



L&G 施術手順と注意点

結合水トリートメントはイオン化することによって、水素結合を促すので、ブローのテクニックがとても重要になります。

① シャンプー

頭皮を強くこすらない。

② 前処理

「クリアメイクピース5 Kiwami 1」をダメージ部分に2cmスライスで1〜2プッシュを丁寧に塗布。

クリアメイクピース5 Kiwami 1
(超高濃度 修復剤)



※ダメージ毛~ハイダメージ毛の場合は、毛先に「クリアメイクピース3」も塗布する。

クリアメイクピース3
(CMCトリートメント)



③ レブリン酸または グリオキシル酸を塗布

「Kiwami-3 C/BL レブリン酸」または「Kiwami-3 C/BG グリオキシル酸」を肌や頭皮につかないよう気をつけながら、2cmスライスで丁寧に塗布。

クリアメイクピース5
Kiwami-3 C/BL
レブリン酸



クリアメイクピース5
Kiwami-3 C/BG
グリオキシル酸

・太い髪の場合や、ツヤを持続させたい場合

「Kiwami-3 C/BL レブリン酸」塗布後、10分加温。さらに「Kiwami-3 C/BG グリオキシル酸」を重ねづけして、10分加温。

・クセを落ち着かせたい場合

「Kiwami-3 C/BL レブリン酸」と「Kiwami-3 C/BG グリオキシル酸」をミックスして使用。

・ツヤとさらとした手触りが欲しい場合

「Kiwami-3 C/BL レブリン酸」と「クリアメイクピース3」をミックスして使用。

④ 加温

遠赤なら60℃で15〜20分、スチーマーなら45〜50℃で、15〜20分加温。

⑤ シャンプー

2回シャンプーをし、中間〜毛先を中心にしっかり洗う。すすぎで少し、キシミを感じる場合があるが、2〜3日(界面の種類による)で改善する。

⑥ 後処理

- 「ハイドロフォビックアミノアシッド」を水で10倍希釈し、キシミが気になるところを中心に、全体に塗布。その後、髪をゆすぐ。



ハイドロフォビック
アミノアシッド

- 「クリアメイクピース5 Kiwami 2」を満遍なくつけた後、「クリアメイクピース3」をつけ、チェンジリンズをして仕上げる。

クリアメイクピース5 Kiwami 2
(超高濃度 修復剤)



クリアメイクピース3
(CMCトリートメント)

⑦ ドライ

- タオルドライ後、髪全体に「ピース2」(18-MEAとエルカラクトン配合)を塗布

クリアメイクピース2
(処理剤)



- ツインブラシでキューティクルを整えた後、残った水分を飛ばすため、ストレートアイロンやカールアイロンを、熱変性をしない程度にかける。

[応用編]

- ・高強度カラーをする場合は「⑥後処理」の後、カラー施術を行い、シャンプー後、「⑦ドライ」の工程へ。
- ・縮毛矯正のメンテナンスメニューとしても使えます。